

Attorney Docket No. 1506.1010

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Yoshihiko OBATA

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: August 2, 2001

Examiner:

For: PROFIT SHARING METHOD



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-057986

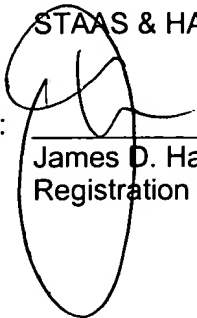
Filed: March 2, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: August 2, 2001

By: 
James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

J1046 U.S. PTO
09/919843



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 3月 2日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-057986

出 願 人

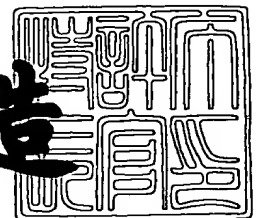
Applicant(s):

富士通株式会社

2001年 5月18日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3041793

【書類名】 特許願

【整理番号】 0150019

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都文京区後楽 1 丁目 7 番 2 7 号 株式会社富士通ビ
 ジネスシステム内

 【氏名】 尾畑 善彦

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100098235

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 金井 英幸

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 062606

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 利益配分方法及び利益配分プログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

商品の特徴づける複数の要素に関して、該要素に対応する複数の選択肢の中から参加者により選択された選択肢を指定する回答情報を、取得する手順と、

取得した回答情報に基づき、前記各要素に関して、1つの選択肢を該要素に対応する採用選択肢として特定する手順と、

前記各要素に関して、該要素に対応する前記採用選択肢を選択した参加者と、該要素に対応させて定められた所定のポイントとを関連づける手順と、

前記各参加者毎に、該参加者に関連づけられたポイントに応じて、該参加者に対して還元される個人還元値を取得する手順とを、サーバ装置に実行させることを特徴とする利益配分方法。

【請求項 2】

前記各要素に対応する前記各選択肢を示す選択用情報を、前記サーバ装置に接続された参加者のクライアント装置へ送信する手順を、前記サーバ装置に実行させることを特徴とする請求項 1 記載の利益配分方法。

【請求項 3】

前記採用選択肢により特徴づけられる商品の画像データを作成する手順を、前記サーバ装置に実行させることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の利益配分方法。

【請求項 4】

商品の特徴づける複数の要素に関して、該要素に対応する複数の選択肢の中から参加者により選択された選択肢を指定する回答情報を、取得する手順と、

この回答情報に基づき、前記各要素に関して、該要素に対応する複数の前記選択肢のうち参加者によって最も多く選択された少なくとも1つの選択肢のうちから、1つの選択肢を該要素に対応する採用選択肢としてサーバ装置に特定させ、前記各要素に関して、該要素に対応する前記採用選択肢を選択した参加者と、該要素に対応させて定められた所定のポイントとを前記サーバ装置に関連づけさせ

、前記各参加者毎に、該参加者に関連づけられたポイントに応じて、該参加者に対して還元される個人還元値を前記サーバ装置に取得させるために、当該回答情報を、前記サーバ装置へ送信する手順とを、
前記サーバ装置と接続された参加者のクライアント装置に実行させることを特徴とする利益配分方法。

【請求項 5】

商品の特徴づける複数の要素に関して、該要素に対応する複数の選択肢の中から参加者により選択された選択肢を指定する回答情報を取得する手順を、サーバ装置に実行させるモジュールと、

取得した回答情報に基づき、前記各要素に関して、該要素に対応する複数の前記選択肢のうち参加者によって最も多く選択された少なくとも 1 つの選択肢のうちから、1 つの選択肢を該要素に対応する採用選択肢として特定する手順を、前記サーバ装置に実行させるモジュールと、

前記各要素に関して、該要素に対応する前記採用選択肢を選択した参加者と、該要素に対応させて定められた所定のポイントとを関連づける手順を、前記サーバ装置に実行させるモジュールと、

前記各参加者毎に、該参加者に関連づけられたポイントに応じて、該参加者に対して還元される個人還元値を取得する手順を、前記サーバ装置に実行させるモジュールとを、

備えたことを特徴とする利益配分プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、商品の開発に消費者を参加させるとともに、商品の販売により得られた利益を消費者へ配分する利益配分方法及び利益配分プログラムに、関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、商品を生産するメーカは、商品の開発の際に、消費者に対してアンケートを実施することにより、消費者の嗜好や意見を収集することがある。消費者が

、アンケートに対して回答すると、メーカは、アンケートを集計し、その集計結果を考慮しつつ、商品を開発する。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、アンケートの集計結果は、商品開発の際に参考資料として参照されるだけであり、直接、商品開発に利用されるわけではない。このため、アンケートに回答した消費者は、その集計結果がどのように商品開発に利用されたのかを、明確に知ることができない。

【 0 0 0 4 】

また、メーカは、利益の一部を、アンケートに答えてくれた消費者（参加者）に還元しようとしても、参加者がアンケートに回答することと商品開発との間に直接的な関係がないので、参加者に対して公平な基準に基づいて利益を還元することができない。

【 0 0 0 5 】

そこで、商品開発に消費者を参加させるとともに、商品開発に参加した消費者（参加者）に対して利益を配分する利益配分方法及び利益配分プログラムを提供することを、本発明の課題とする。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

本発明による利益配分方法及び利益配分プログラムは、上記課題を解決するために、クライアント装置に接続されたサーバ装置に対して、以下の複数の手順を実行させる。

【 0 0 0 7 】

これらの手順は、商品の特徴づける複数の要素に関して、該要素に対応する複数の選択肢の中から参加者により選択された選択肢を指定する回答情報を、取得する手順と、取得した回答情報に基づき、前記各要素に関して、1つの選択肢を該要素に対応する採用選択肢として特定する手順と、前記各要素に関して、該要素に対応する前記採用選択肢を選択した参加者と、該要素に対応させて定められた所定のポイントとを関連づける手順と、前記各参加者毎に、該参加者に関連づ

けられたポイントに応じて、該参加者に対して還元される個人還元値を取得する手順とから、少なくとも構成される。

【 0 0 0 8 】

このように構成されると、サーバ装置は、取得した回答情報を集計することにより、各要素に関し、参加者により選択された選択肢を、どれだけ多くの参加者に選択されたかという基準で、順位づけすることができる。そして、多くの参加者に選択された上位のいくつかの選択肢のなかから、実際の商品に採用される採用選択肢が決定される。従って、採用選択肢に基づいて開発された商品は、多くの消費者の趣味や嗜好に合致していることが期待される。なお、各選択肢のうちの順位が 1 番のものが自動的に採用選択肢として特定されてもよい。また、各選択肢のうちの上位のもののなかから、メーカーの担当者が、採用選択肢を特定してもよい。

【 0 0 0 9 】

さらに、参加者には、該参加者に関連づけられたポイントに応じて例えば売上利益金額の一部を配分するなどの利益還元がなされる。例えば、参加者が選択した選択肢が採用選択肢になった場合に、当該採用選択肢に対応する要素に対して予め設定された重み値としてのポイントが、付与される。そして、参加者には、付与されたポイントの合計である個人ポイントに応じた利益還元がなされる。

【 0 0 1 0 】

【発明の実施の形態】

以下、図面に基づいて本発明の一実施形態を説明する。

【 0 0 1 1 】

図 1 は、本実施形態のシステム構成図である。このシステムは、消費者（参加者）のクライアント装置 10、メーカーが運営するサーバ装置 20、メーカーの販売部門における処理用の販売部側装置 30、及び、メーカーの生産部門における処理用の生産部側装置 40 を、備えている。

【 0 0 1 2 】

クライアント装置 10 は、WWW (World Wide Web) ブラウザプログラムがインストールされたパーソナルコンピュータである。このクライアント装置 10 は

、インターネットを介してサーバ装置20に接続可能である。

【0013】

サーバ装置20は、高機能のコンピュータから構成されており、販売部側装置30及び生産部側装置40と、夫々接続されている。このサーバ装置20は、ハードディスク(HDD)21を備えている。このHDD21内には、利益配分プログラム22がインストールされている。この利益配分プログラム22は、複数のモジュールから構成されており、WWWウェブサーバプログラムとしても機能する。

【0014】

そして、メーカは、新しく商品を開発する際に、このサーバ装置20を利用して消費者に対してアンケートを実施し、このアンケートの結果に基づいて商品設計する。具体的には、まず、メーカは、開発する商品の特徴づける要素を、複数リストアップし、各要素毎に、複数の選択肢を用意する。

【0015】

例えば、開発される商品がジーンズであれば、メーカは、この商品の特徴づける要素として、ジーンズの色、ジーンズの形、ポケットの色と模様、金具、及び、ベルト通しの形状等の要素を、リストアップする。さらに、メーカは、リストアップした各要素毎に、複数の選択肢を用意する。即ち、「ジーンズの色」の要素に対して、互いに異なる複数のジーンズ生地の色を選択肢として用意する。

【0016】

そして、メーカは、各要素及び該要素に対応する各選択肢に関する情報を、アンケートテーブル23としてまとめ、サーバ装置20のHDD21内に記憶させる。図2は、このアンケートテーブル23の模式図である。このアンケートテーブル23は、各要素と夫々対応した複数のレコード(アンケートデータ23')を、含んでいる。

【0017】

これら各アンケートデータ23'は、当該レコードに対して一意的に付与された要素番号を格納する“要素番号”フィールド、要素の名称を格納する“要素名”フィールド、各選択肢の夫々に対応させた画像データを格納する複数の“選択

肢”フィールド、及び、“重み値”フィールドを、含んでいる。なお、この“重み値”フィールドには、当該アンケートデータ 2 3’ に対応する要素が商品の特徴づけるのに寄与する重要度を示す重み値が、格納される。

【 0 0 1 8 】

図 2 に示されるように、“要素番号”が“1”のアンケートデータ 2 3’ は、その“要素名”が“ジーンズ色”であり、各“選択肢”フィールドには、各選択肢に夫々対応するジーンズ生地の画像データが、格納されている。なお、これら画像データは、実際にはカラー画像データである。

【 0 0 1 9 】

“要素番号”が“2”のアンケートデータ 2 3’ は、その“要素名”が、“ジーンズ形（横）”であり、各“選択肢”フィールドには、夫々、ジーンズを横から見た場合の画像データが、格納されている。

【 0 0 2 0 】

“要素番号”が“3”のアンケートデータ 2 3’ は、その“要素名”が、“後ポケット／模様”であり、各“選択肢”フィールドには、夫々、後ポケットの形及び模様を示す画像データが、格納されている。なお、図 2 に示される例では、後ポケットの形及び後ポケットの模様に対応させて、1 つのアンケートデータ 2 3’ が作成されているが、後ポケットの形に対応したアンケートデータ 2 3’ と、後ポケットの模様に対応したアンケートデータ 2 3’ とが、個別に作成されてもよい。

【 0 0 2 1 】

また、“要素番号”が“1”のアンケートデータ 2 3’ 及び“要素番号”が“2”のアンケートデータ 2 3’ は、いずれも、その“重み値”が“2”である。一方、“要素番号”が“3”のアンケートデータ 2 3’ は、その“重み値”が“1”である。この重み値は、商品の特徴づけるうえでの重要度が高いほど、大きな値に設定される。例えば、“ジーンズ色”の要素、及び“ジーンズ形（横）”の要素は、“後ポケット／模様”の要素に比べて、商品の特徴づけるうえでの重要度が高い。即ち、商品の全体としての印象を決定する“ジーンズ色”の要素、及び“ジーンズ形（横）”の要素には、高い重み値が与えられており、商品の部

分的な印象に係る“後ポケット／模様”の要素には、低い重み値が与えられている。

【 0 0 2 2 】

なお、図 2 には、1 つのアンケートテーブル 2 3 のみが、示されている。しかし、該アンケートテーブル 2 3 は、消費者の年代及び性別に対応させて複数種作成されてもよい。例えば、2 0 代の女性に向けたアンケートテーブル 2 3 と、1 0 代の男性に向けたアンケートテーブル 2 3 とでは、各要素の項目（要素名）は同じであっても、該要素に対応する各選択肢が異なる。

【 0 0 2 3 】

さらに、図 1 に示されるように、サーバ装置 2 0 の HDD 2 1 内には、参加者テーブル 2 4 が格納されている。図 3 は、この参加者テーブル 2 4 を示す模式図である。この参加者テーブル 2 4 は、複数のレコード（参加者データ 2 4' ）を、含んでいる。これら各参加者データ 2 4' は、参加者に対して一意的に付与された参加者 ID を格納する“ID”フィールド、参加者の氏名を格納する“氏名”フィールド、参加者の性別を格納する“性別”フィールド、参加者の年齢を格納する“年齢”フィールド、参加者の住所を格納する“住所”フィールド、“回答状況”フィールド、“個人ポイント”フィールド、及び“個人還元値”フィールドを、含んでいる。

【 0 0 2 4 】

なお、参加者がアンケートに回答すると、その回答内容が、後述する回答ファイル R（図 6）として HDD 2 1 内に格納される。そして、図 3 の“回答状況”フィールドには、この回答ファイル R のファイル名が、格納される。例えば、“ID”が“A 0 0 1”の参加者データ 2 4' における“回答状況”フィールドには、“a n s - a 0 0 1”が格納されている。即ち、この参加者の回答ファイル R のファイル名は、“a n s - a 0 0 1”である。なお、参加者がまだアンケートに回答していない場合には、この参加者に対応する参加者データ 2 4' の“回答状況”フィールドは、空欄になっている。

【 0 0 2 5 】

“個人ポイント”フィールドには、参加者の回答の内容に応じて該参加者に付

与される個人ポイントの値が、格納されている。“個人還元値”フィールドには、個人ポイントに基づいて参加者に配分される、例えば金額に相当する個人還元値が、格納されている。なお、個人ポイント及び個人還元値の算出については、図 7 及び図 1 2 を夫々参照して後述する。

【 0 0 2 6 】

図 4 は、サーバ装置 2 0 が実行するアンケート処理のフローチャートである。この図 4 のフローチャートは、参加者が、クライアント装置 1 0 にブラウザプログラムを実行させてサーバ装置 2 0 と接続させることにより、このサーバ装置 2 0 に対してアンケートに回答する旨を通知することにより、開始する。

【 0 0 2 7 】

最初の S 1 0 1 では、サーバ装置 2 0 は、クライアント装置 1 0 のモニタに、このクライアント装置 1 0 を操作している参加者が新規の会員であるかどうかを質問する画面を、表示する。そして、サーバ装置 2 0 は、この参加者が新規の会員であれば処理を S 1 0 2 へ進め、この参加者が新規の会員でなければ処理を S 1 0 3 へ進める。なお、このサーバ装置 2 0 は、各種のサービスを提供しており、一般の消費者は、会員の登録をすることにより、そのサービスを利用することができる。そして、会員の登録がなされると、サーバ装置 2 0 は、参加者データ 2 4' を作成する。従って、参加者が、以前に、このサーバ装置 2 0 が提供する各種のサービスを利用したことがある場合には、この参加者の参加者データ 2 4' は、サーバ装置 2 0 の HDD 2 1 内に格納されている。

【 0 0 2 8 】

S 1 0 2 では、サーバ装置 2 0 は、クライアント装置 1 0 のモニタに、入力用の画面を表示させることにより、参加者に、氏名、性別、年齢、及び住所を、入力させる。そして、サーバ装置 2 0 は、新規の参加者データ 2 4' を 1 レコード作成する。この参加者データ 2 4' の“ID”フィールドには、新規の ID が格納される。また、この参加者データ 2 4' の“氏名”，“性別”，“年齢”，“住所”，の各フィールドには、夫々、参加者により入力された情報が、格納される。この参加者データ 2 4' が、以下の処理において「処理対象の参加者データ 2 4' 」と、称される。そして、処理は S 1 0 5 へ進む。

【0029】

一方、S103では、サーバ装置20は、クライアント装置10のモニタに、ID入力用の画面を表示させることにより、参加者に、自分のIDを入力させる。

【0030】

次のS104では、サーバ装置20は、S103において参加者が入力した参加者IDに対応する参加者データ24'を検索し、検索によりこの参加者データ24'が特定できた場合には、処理をS105へ進める。なお、特定された参加者データ24'が、以下の処理において「処理対象の参加者データ24'」と、称される。一方、サーバ装置20は、参加者データ24'を特定できなかった場合には、処理を終了させる。

【0031】

S105では、サーバ装置20は、処理対象の参加者データ24'の“性別”及び“年齢”を参照し、この参加者の年齢及び性別に適合したアンケートテーブル23を決定する。

【0032】

次のS106では、サーバ装置20は、処理対象の参加者データ24'の“回答状況”フィールドが空欄であるかどうかを、調べる。そして、サーバ装置20は、“回答状況”フィールドが空欄でなければ、この参加者が以前にアンケートに回答したことがあると判断して、処理を終了させる。一方、サーバ装置20は、“回答状況”フィールドが空欄であれば、この参加者は未回答であると判断して、処理をS107へ進める。

【0033】

S107では、サーバ装置20は、S105で決定したアンケートテーブル23の各アンケートデータ23'に夫々対応したアンケート画面（選択用情報）を、クライアント装置10のモニタに表示させることにより、参加者に、各アンケートデータ23'に対する回答を入力させる。

【0034】

図5は、アンケート画面の一例を示す模式図である。このアンケート画面は、

各アンケートデータ 2 3' の各“選択肢”フィールドに夫々対応する画像データを、含んでいる。例えば、図 2 のアンケートテーブル 2 3 における“要素番号”が“3”のアンケートデータ 2 3' は、後ポケットの形及び模様に対応しており、その各“選択肢”に夫々対応する各画像データが、図 5 のアンケート画面に含まれている。そして、参加者は、各アンケートデータ 2 3' に対して、自分の好みの選択肢を 1 つずつ、選択する。そのうえで、クライアント装置 1 0 は、参加者により選択された選択肢を指定する情報を、回答情報として、サーバ装置 2 0 へ送信する。

【 0 0 3 5 】

次の S 1 0 8 では、サーバ装置 2 0 は、S 1 0 7 においてクライアント装置から送信された回答情報を取得するとともに、この回答情報に基づいて、参加者が選択した選択肢を示す回答ファイルを作成し、HDD 2 1 内に格納する。なお、S 1 0 5 で決定されたアンケートに関し、1 人の参加者に対して 1 つの回答ファイルが、作成される。

【 0 0 3 6 】

図 6 は、この回答ファイル R を示す模式図である。この回答ファイル R は、“要素番号”フィールド、及び“回答選択肢”フィールドを、含んでいる。そして、各“要素番号”に夫々対応する各“回答選択肢”フィールドには、参加者により選択された選択肢の番号が、格納される。なお、参加者データ 2 4' (図 3) の“回答状況”フィールドには、この回答ファイル R のファイル名が、格納される。そして、サーバ装置 2 0 は、処理を終了させる。

【 0 0 3 7 】

なお、上述の例では、ジーンズに関するアンケートが示されているが、この他にも、ジャケットやその他の商品に関するアンケートが用意されていてもよい。この場合には、サーバ装置 2 0 の HDD 2 1 内には、他の商品に関するアンケートテーブルが、性別・年齢に応じて予め複数用意されている必要がある。さらに、上記参加者テーブル 2 4 において、他の商品に対応させた“回答状況”，“個人ポイント”及び“個人還元値”の各フィールドが、増設されている必要がある。

【0038】

以下、図7のフローチャートを参照して、アンケートの回答結果に基づく商品開発処理について、説明する。なお、図7のフローチャートは、図4の処理により作成される回答ファイルRが、所定数以上蓄積された後に、サーバ装置20により実行される。なお、図12のフローチャートの処理は、各年齢及び性別に夫々対応させて開発される各商品に対して、個別に実行される。

【0039】

最初のS201では、サーバ装置20は、蓄積された回答ファイルRを集計し、図8に示される集計テーブルMを作成する。但し、サーバ装置20は、処理対象の商品に対応した年齢及び性別の条件に合致した参加者の回答ファイルRのみを、集計する。図8に示されるように、集計テーブルMは、“要素番号”，“要素名”，及び複数の“選択肢”フィールドを、含んでいる。そして、各“要素番号”に対応する各“選択肢”フィールドには、当該“選択肢”を選択した参加者の人数が、格納されている。

【0040】

次のS202では、サーバ装置20は、S201で作成した集計テーブルMに基づき、各要素毎にどの選択肢が最も多く選択されているかを、特定する。即ち、サーバ装置20は、集計テーブルM（図8）を参照し、各“要素番号”に対応する各“選択肢”のうち、最大値を格納しているものを、当該要素に対応する採用選択肢として決定し、図9に示される採用テーブルDを作成する。この採用テーブルDは、“要素番号”フィールド、及び“採用選択肢”フィールドを、含んでいる。“採用選択肢”フィールドには、対応する要素に関して、最も多く選択された選択肢の番号が、格納されている。この図9は、例えば、“要素番号”が“1”の要素に関しては、選択肢2が最も多くの参加者により選択されたことを、示している。

【0041】

なお、上記の例では、最も多く選択された選択肢が、採用選択肢として自動的に決定されている。これに対し、比較的多くの参加者に選択された複数の選択肢のなかから、メーカーの担当者が、採用選択肢を決定することとしてもよい。

【 0 0 4 2 】

次の S 2 0 3 では、サーバ装置 2 0 は、各参加者に対応させて個人ポイントを夫々算出する。具体的には、サーバ装置 2 0 は、参加者の回答ファイル R の“回答選択肢”と採用テーブル D の“採用選択肢”とを、各“要素番号”毎に比較し、これら“回答選択肢”と“採用選択肢”とが一致した場合に、当該参加者に対してポイントを与える。なお、図 2 に示されるように、各アンケートデータ 2 3 ' には、夫々、“重み値”が設定されている。ある“要素番号”に関して、“回答選択肢”と“採用選択肢”とが一致した場合には、当該“要素番号”に対応するアンケートデータ 2 4 ' の“重み値”が、ポイントとして参加者に付与される。そして、サーバ装置 2 0 は、これら各“要素番号”に関して、参加者に付与されたポイントの合計を、当該参加者の個人ポイントとして算出する。なお、ポイントが全く付与されなかった参加者の個人ポイントは、0 である。

【 0 0 4 3 】

次の S 2 0 4 では、サーバ装置 2 0 は、S 2 0 3 で算出した個人ポイントを、参加者テーブル 2 4 (図 3) における参加者データ 2 4 ' の“個人ポイント”フィールドに、格納する。

【 0 0 4 4 】

次の S 2 0 5 では、サーバ装置 2 0 は、S 2 0 2 で作成した採用テーブル D (図 9) に基づいて商品化イメージを作成する。即ち、サーバ装置 2 0 は、採用テーブル D に基づいて各要素に夫々対応する各選択肢(採用選択肢)を特定し、特定した各選択肢の画像データから構成される商品の画像データである商品化イメージを、作成する。

【 0 0 4 5 】

次の S 2 0 6 では、サーバ装置 2 0 は、S 2 0 5 で作成した商品化イメージを含むウェブデータを作成する。すると、クライアント装置 1 0 を操作する参加者、並びに、販売部側装置 3 0 及び生産部側装置 4 0 を夫々操作する各担当者は、この商品化イメージを画面表示させることができる。図 1 0 は、この商品化イメージの表示例を示す模式図である。この図 1 0 に示されるように、商品の前面、横面、及び後面が、夫々、画面表示されてもよい。また、商品の 3 D 画像が画面

表示されてもよい。この 3 D 表示の場合には、表示された商品の画面内における配置及び向きがインタラクティブに変化可能であることが、望ましい。

【 0 0 4 6 】

次の S 2 0 7 では、サーバ装置 2 0 は、採用テーブル D により示された各採用選択肢を示す情報を、生産部側装置 4 0 へ送信して、処理を終了する。すると、生産部の担当者は、生産部側装置 4 0 に対して送信された情報に基づき、新規商品の生産を開始する。なお、各採用選択肢を示す情報とともに、当該採用選択肢の形状及び規格に関する情報が、生産部側装置 4 0 へ送信されてもよい。

【 0 0 4 7 】

この生産部において生産された新規の商品は、販売部によって販売される。この販売部によって販売された商品の販売数量、売上及び利益等の販売実績は、販売部側装置 3 0 により、集計される。そして、集計された販売実績は、参加者に対して公開される。以下、図 1 1 のフローチャートを参照して、商品の販売実績を公開する処理について、説明する。この図 1 1 の処理は、サーバ装置 2 0 が、例えば、1 日に 1 回、所定の時刻に開始する。

【 0 0 4 8 】

最初の S 3 0 1 では、サーバ装置 2 0 は、販売部側装置 3 0 において集計された販売実績を取得する。なお、この販売実績は、販売数量、売上額、及び利益等を含んでいてもよい。

【 0 0 4 9 】

次の S 3 0 2 では、サーバ装置 2 0 は、S 3 0 1 で取得した販売実績を含むウェブデータを作成して、処理を終了する。参加者は、クライアント装置 1 0 のモニタに、この販売実績を含むウェブデータを、画面表示させることができる。従って、参加者は、アンケートに回答することにより自分が開発に参加した商品に関して、その最新の販売実績を知ることができる。

【 0 0 5 0 】

以下、図 1 2 のフローチャートを参照して、商品が販売されて得られた利益の一部を参加者に配分する処理につき、説明する。この図 1 2 のフローチャートは、メーカーが決算日等に対応させて定めた所定の期日に、実行される。なお、こ

の図12のフローチャートは、各年齢及び性別に夫々対応させて開発された各商品に対して、個別に実行される。

【0051】

最初のS401では、サーバ装置20は、販売実績を確定する。例えば、サーバ装置20は、商品の販売開始以降の利益を、算出する。

【0052】

次のS402では、サーバ装置20は、S401で確定した販売実績に基づき、各参加者に配分すべき金額の合計に相当する総還元値を、算出する。例えば、サーバ装置20は、S401で算出した利益の5%を、総還元値として算出する。

【0053】

次のS403では、サーバ装置20は、単位還元値を算出する。具体的には、まず、サーバ装置20は、商品が対象としている年齢及び性別に適合した参加者の“個人ポイント”を、全て加算することにより、個人ポイントの総計である総ポイントを、算出する。即ち、サーバ装置20は、参加者テーブル24（図3）から、その“年齢”及び“性別”フィールドに、当該商品が対象とする年齢及び性別に合致する情報が格納された各参加者データ24'を全て抽出し、抽出した各参加者データ24'の“個人ポイント”を全て加算することにより、当該商品に対応する総ポイントを算出する。さらに、サーバ装置20は、S402で算出した総還元値を、総ポイントで除することにより、単位還元値を算出する。

【0054】

次のS404では、サーバ装置20は、各参加者データ24'（図3）の“個人ポイント”に、夫々、S403で算出した単位還元値を乗ずることにより、当該参加者に対して配分すべき金額に相当する個人還元値を、算出する。そして、サーバ装置20は、算出した各個人還元値を、対応する参加者データ24'の“個人還元値”フィールドに、夫々格納する。

【0055】

次のS405では、サーバ装置20は、S404で算出した個人還元値を、対応する参加者へ夫々通知して、処理を終了する。例えば、サーバ装置20は、各

参加者のみが夫々アクセス可能なウェブデータを作成することにより、個人還元値を、対応する参加者にのみ閲覧可能としてもよい。また、サーバ装置 2 0 は、個人還元値を、対応する参加者に電子メールにより通知してもよい。

【 0 0 5 6 】

通知を受けた参加者は、獲得した個人還元値に対応するサービスを楽しむことができる。例えば、参加者は、ウェブ上に開設されたショッピングモールにおける買い物に、この個人還元値を利用したり、この個人還元値に相当する商品券やプリペイドカード等を、受領することができる。また、この個人還元値は、換金可能であってもよい。

【 0 0 5 7 】

上記のように、本実施形態の利益配分方法及び利益配分プログラムによると、メーカは、消費者の嗜好に合致した商品を短期間で開発することができる。また、アンケートへの参加者に対しては、商品開発に寄与した度合いに応じて公平に利益が配分されるので、多くの消費者が参加者として商品開発に参加することになる。本発明は、上記説明した構成にとらわれるものではなく、例えば、クライアント装置 1 0 は画像や文字などの情報の送受信を行う機能を備えた携帯電話であってもよいし、また、クライアント装置 1 0 とサーバ装置 2 0 とは、インターネット以外の有線または無線の通信網で接続されていてもよい。

【 0 0 5 8 】

(付記 1) 商品の特徴づける複数の要素に関して、該要素に対応する複数の選択肢の中から参加者により選択された選択肢を指定する回答情報を、取得する手順と、

取得した回答情報に基づき、前記各要素に関して、1つの選択肢を該要素に対応する採用選択肢として特定する手順と、

前記各要素に関して、該要素に対応する前記採用選択肢を選択した参加者と、該要素に対応させて定められた所定のポイントとを関連づける手順と、

前記各参加者毎に、該参加者に関連づけられたポイントに応じて、該参加者に対して還元される個人還元値を取得する手順とを、サーバ装置に実行させることを特徴とする利益配分方法。

【 0 0 5 9 】

（付記 2） 前記各要素に対応する前記各選択肢を示す選択用情報を、前記サーバ装置に接続された参加者のクライアント装置へ送信する手順を、前記サーバ装置に実行させることを特徴とする付記 1 記載の利益配分方法。

【 0 0 6 0 】

（付記 3） 前記採用選択肢により特徴づけられる商品の画像データを作成する手順を、前記サーバ装置に実行させることを特徴とする付記 1 又は 2 記載の利益配分方法。

【 0 0 6 1 】

（付記 4） 商品の特徴づける複数の要素に関して、該要素に対応する複数の選択肢の中から参加者により選択された選択肢を指定する回答情報を、取得する手順と、

この回答情報に基づき、前記各要素に関して、該要素に対応する複数の前記選択肢のうち参加者によって最も多く選択された少なくとも 1 つの選択肢のうちから、1 つの選択肢を該要素に対応する採用選択肢としてサーバ装置に特定させ、前記各要素に関して、該要素に対応する前記採用選択肢を選択した参加者と、該要素に対応させて定められた所定のポイントとを前記サーバ装置に関連づけさせ、前記各参加者毎に、該参加者に関連づけられたポイントに応じて、該参加者に対して還元される個人還元値を前記サーバ装置に取得させるために、当該回答情報を、前記サーバ装置へ送信する手順とを、

前記サーバ装置と接続された参加者のクライアント装置に実行させることを特徴とする利益配分方法。

【 0 0 6 2 】

（付記 5） 商品の特徴づける複数の要素に関して、該要素に対応する複数の選択肢の中から参加者により選択された選択肢を指定する回答情報を取得する手順を、サーバ装置に実行させるモジュールと、

取得した回答情報に基づき、前記各要素に関して、該要素に対応する複数の前記選択肢のうち参加者によって最も多く選択された少なくとも 1 つの選択肢のうちから、1 つの選択肢を該要素に対応する採用選択肢として特定する手順を、前

記サーバ装置に実行させるモジュールと、

前記各要素に関して、該要素に対応する前記採用選択肢を選択した参加者と、該要素に対応させて定められた所定のポイントとを関連づける手順を、前記サーバ装置に実行させるモジュールと、

前記各参加者毎に、該参加者に関連づけられたポイントに応じて、該参加者に対して還元される個人還元値を取得する手順を、前記サーバ装置に実行させるモジュールとを、

備えたことを特徴とする利益配分プログラム。

【 0 0 6 3 】

(付記 6) 商品の特徴づける複数の要素に関して、該要素に対応する複数の選択肢の中から参加者により選択された選択肢を指定する回答情報を、取得する手順と、

取得した回答情報に基づき、前記各要素に関して、該要素に対応する複数の前記選択肢のうち参加者によって最も多く選択された少なくとも 1 つの選択肢のうちから、1 つの選択肢を該要素に対応する採用選択肢として特定する手順と、

前記各要素に関して、該要素に対応する前記採用選択肢を選択した参加者と、該要素に対応させて定められた所定のポイントとを関連づける手順と、

前記各参加者毎に、該参加者に関連づけられたポイントの合計である個人ポイントを算出する手順と、

前記各参加者の個人ポイントの合計である総ポイントを算出する手順と、

前記参加者に対して還元される金額の合計に相当する総還元値を、前記総ポイントで除することにより、単位還元値を算出する手順と、

前記参加者の個人ポイントに前記単位還元値を乗ずることにより、該参加者に対して還元される金額に相当する個人還元値を算出する手順とを、サーバ装置に実行させることを特徴とする利益配分方法。

【 0 0 6 4 】

(付記 7) クライアント装置と接続された処理装置と、

商品の特徴づける複数の要素に関して、該要素に対応する複数の選択肢の中から参加者により選択された選択肢を指定する回答情報を取得する手順を、前記処

理装置に実行させるモジュールと、取得した回答情報に基づき、前記各要素に関して、該要素に対応する複数の前記選択肢のうち参加者によって最も多く選択された少なくとも1つの選択肢のうちから、1つの選択肢を該要素に対応する採用選択肢として特定する手順を、前記処理装置に実行させるモジュールと、前記各要素に関して、該要素に対応する前記採用選択肢を選択した参加者と、該要素に対応させて定められた所定のポイントとを関連づける手順を、前記処理装置に実行させるモジュールと、前記各参加者毎に、該参加者に関連づけられたポイントの合計である個人ポイントを算出する手順を、前記処理装置に実行させるモジュールと、前記各参加者の個人ポイントの合計である総ポイントを算出する手順を、前記処理装置に実行させるモジュールと、前記参加者に対して還元される金額の合計に相当する総還元値を、前記総ポイントで除することにより、単位還元値を算出する手順を、前記処理装置に実行させるモジュールと、前記参加者の個人ポイントに前記単位還元値を乗ずることにより、該参加者に対して還元される金額に相当する個人還元値を算出する手順を、前記処理装置に実行させるモジュールとを有する利益配分プログラムを格納した記憶媒体とを、備えたことを特徴とする利益配分装置。

【 0 0 6 5 】

(付記 8) 商品の特徴づける複数の要素に関して、該要素に対応する複数の選択肢の中から参加者により選択された選択肢を指定する回答情報を、取得する手順と、

取得した回答情報に基づき、前記各要素に関して、該要素に対応する複数の前記選択肢のうち参加者によって最も多く選択された少なくとも1つの選択肢のうちから、1つの選択肢を該要素に対応する採用選択肢として特定する手順と、

前記採用選択肢に基づいて商品を開発する手順とを、
備えたことを特徴とする商品開発方法。

【 0 0 6 6 】

【発明の効果】

以上のように構成された本発明の利益配分方法及び利益配分プログラムによると、消費者は、商品の開発に参加者として関与することができるので、当該商品

に関する関心が高まる。さらに、参加者に対しては、商品開発に寄与した度合いに応じて公平に利益が配分されるので、多くの参加者が商品開発に参加することになる。

【図面の簡単な説明】

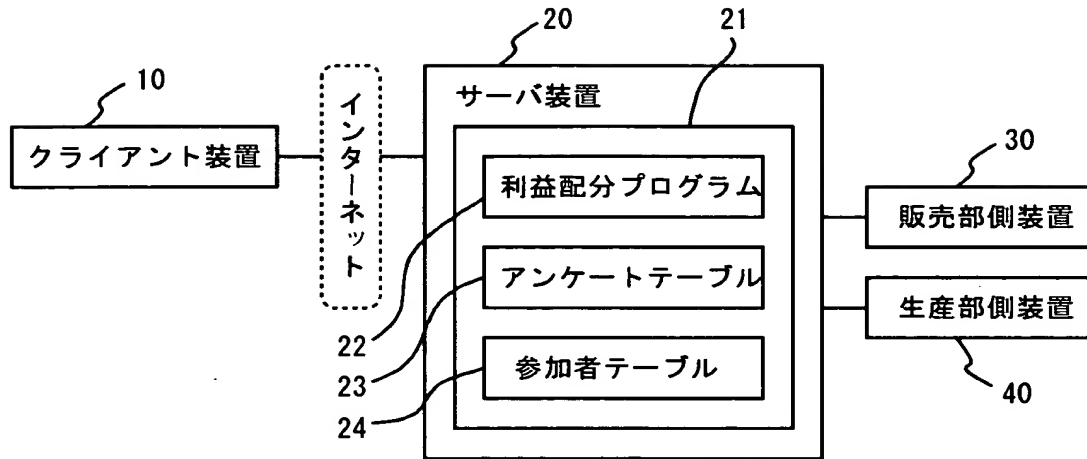
- 【図 1】 本発明の一実施形態のシステム構成図
- 【図 2】 アンケートテーブルの模式図
- 【図 3】 参加者テーブルの模式図
- 【図 4】 アンケート処理を示すフローチャート
- 【図 5】 アンケート画面の一例を示す模式図
- 【図 6】 回答ファイルを示す模式図
- 【図 7】 商品開発処理を示すフローチャート
- 【図 8】 集計テーブルを示す模式図
- 【図 9】 採用テーブルを示す模式図
- 【図 1 0】 商品化イメージの表示例を示す模式図
- 【図 1 1】 販売実績を公開する処理を示すフローチャート
- 【図 1 2】 利益配分処理を示すフローチャート

【符号の説明】

- 1 0 クライアント装置
- 2 0 サーバ装置
- 2 1 ハードディスク
- 2 2 利益配分プログラム
- 2 3 アンケートテーブル
- 2 4 参加者テーブル
- R 回答ファイル
- M 集計テーブル
- D 採用テーブル
- 3 0 販売部側装置
- 4 0 生産部側装置



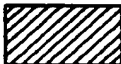






【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

23

| 要素番号 | 要素名 | 選択肢 1 | 選択肢 2 | 選択肢 N | 重み値 |
|------|----------|---|---|---|-----|
| 1 | ジーンズ色 |  |  |  | 2 |
| 2 | ジーンズ形(横) |  |  |  | 2 |
| 3 | 後ポケット/模様 |  |  |  | 1 |
| 4 | ... | ... | ... | ... | ... |

23'

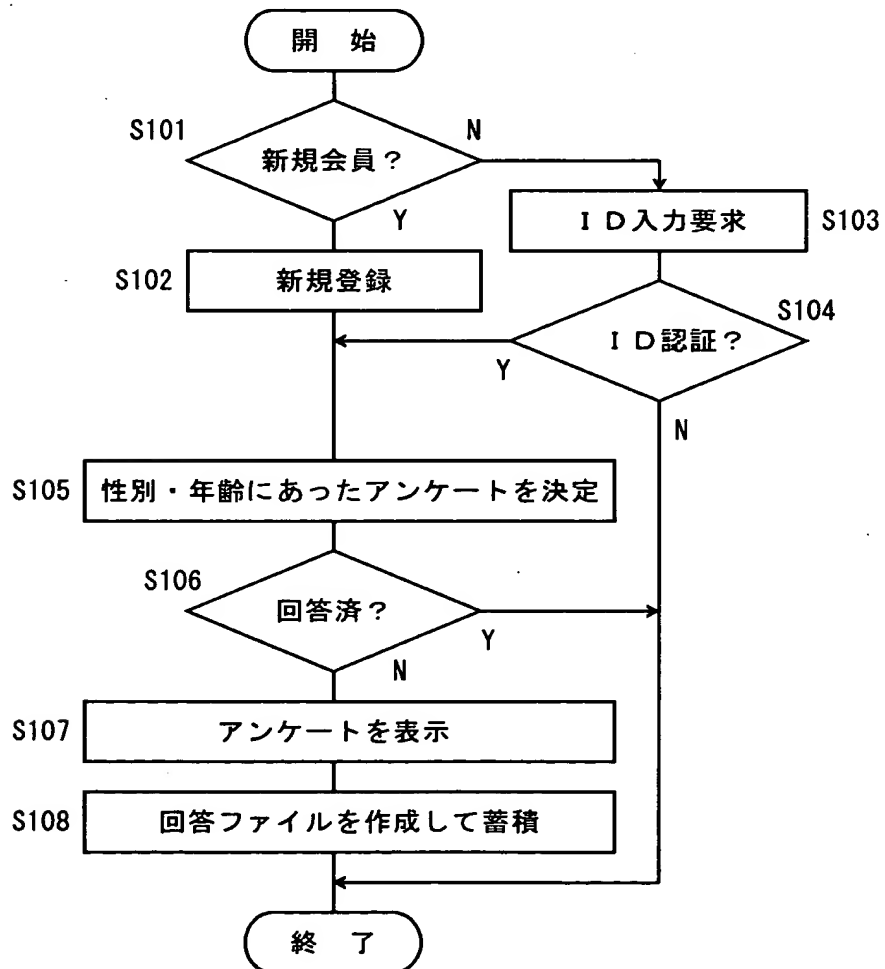
【図 3】

24

| I D | 氏名 | 性別 | 年齢 | 住 所 | ... | 回答状況 | 個人ポイント | 個人還元値 |
|------|------|-----|-----|--------|-----|----------|--------|-------|
| A001 | ○川○夫 | 男 | 19 | 東京都... | ... | ans-a001 | 30 | 3000 |
| A002 | △田△子 | 女 | 25 | 千葉県... | ... | ans-a002 | 12 | 1200 |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |

24'




【図 4】



【図 5】

貴方の好きな色、形、模様を選んでください

後ポケット
模様

☐  ☐  ... ☐ 

⋮ ⋮ ⋮ ⋮

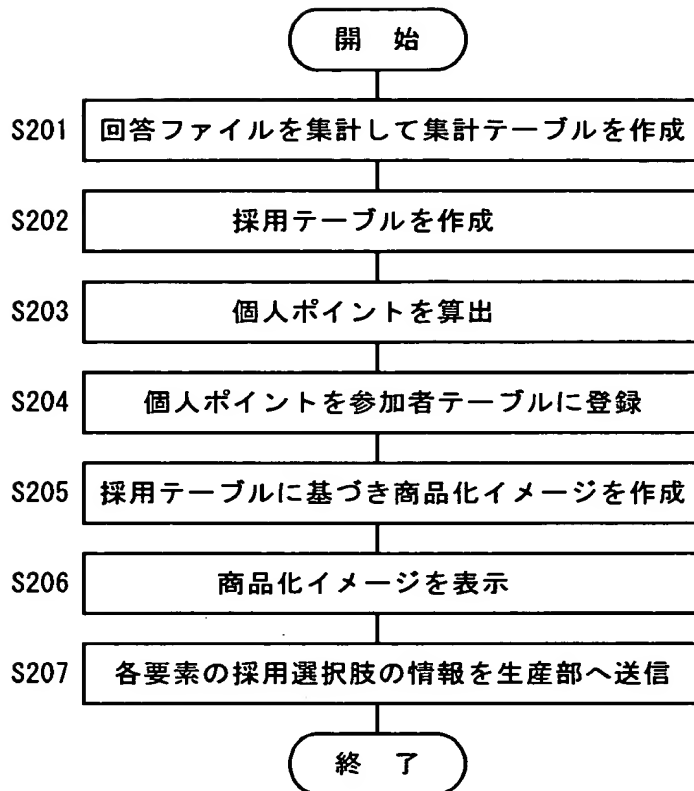
送 信

【図 6】

| 要素番号 | 回答選択肢 |
|------|-------|
| 1 | 2 |
| 2 | 3 |
| 3 | 4 |
| 4 | ... |

↙ R

【図 7】



【図 8】

| 要素番号 | 要素名 | 選択枝 1 | 選択枝 2 | 選択枝 N |
|------|----------|-------|-------|-------|
| 1 | ジーンズ色 | 22 | 414 | 35 |
| 2 | ジーンズ形(横) | 395 | 96 | 121 |
| 3 | 後ポケット/模様 | 49 | 279 | 181 |
| 4 | ... | ... | ... | ... |

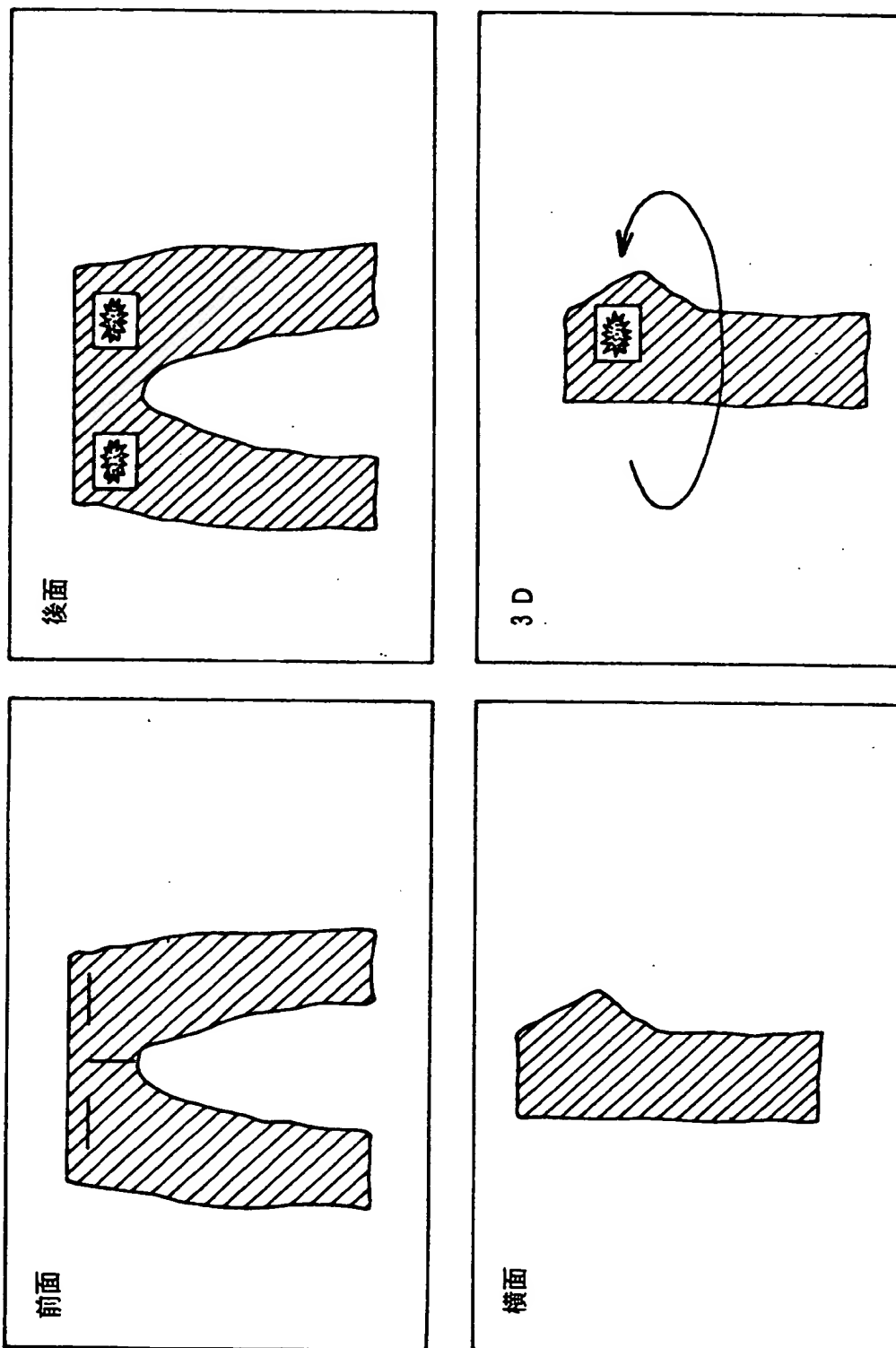
M

【図 9】

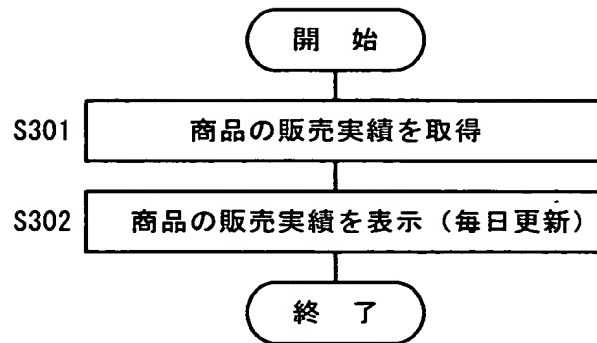
| 要素番号 | 採用選択肢 |
|------|-------|
| 1 | 2 |
| 2 | 1 |
| 3 | 3 |
| 4 | ... |

↙ D

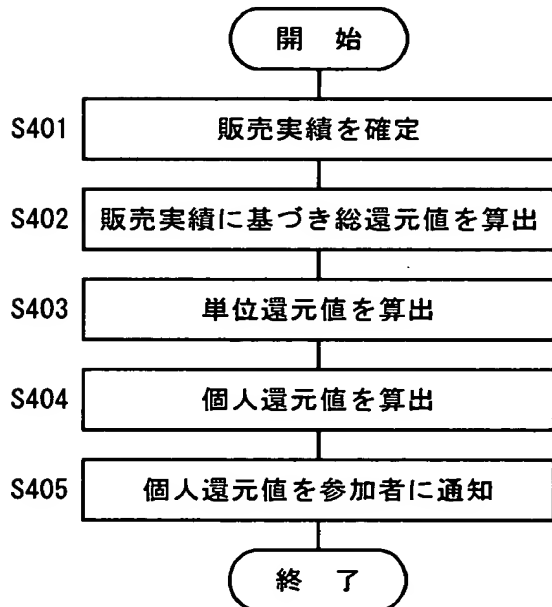
【図 10】



【図 1 1】



【図 1 2】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 消費者を商品開発に参加者として参加させ、参加者に対して利益の一部を公平に配分する利益配分方法及び利益配分プログラムを、提供する。

【解決手段】 商品の特徴づける複数の要素と、該要素毎に複数用意された選択肢とを含んだアンケートテーブル 2 3 が、作成される。参加者が、このアンケートテーブル 2 3 に基づいて実施されるアンケートに回答すると、その回答が集計され、各要素毎に、最も多くの参加者により選択された選択肢が、採用選択肢として決定される。そして、これら採用選択肢により特徴づけられる商品のイメージが作成される。この商品が販売されて得られた利益の一部は、参加者に按分される。即ち、参加者に対し、開発に寄与した度合いに応じて利益の一部が、還元される。

【選択図】 図 1

特 2001-057986

認定・付加情報

| | |
|---------|---------------|
| 特許出願の番号 | 特願2001-057986 |
| 受付番号 | 50100296998 |
| 書類名 | 特許願 |
| 担当官 | 第七担当上席 0096 |
| 作成日 | 平成13年 3月 5日 |

<認定情報・付加情報>

| | |
|-------|-------------|
| 【提出日】 | 平成13年 3月 2日 |
|-------|-------------|

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

| | |
|----------|-----------------------|
| 1. 変更年月日 | 1996年 3月26日 |
| [変更理由] | 住所変更 |
| 住 所 | 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 |
| 氏 名 | 富士通株式会社 |